

# 大麻幼稚園 自己評価・学校評価の結果について

平成28年度

## 1. 園の教育目標

子ども達が自ら課題を持って、力いっぱい遊びや仕事に取り組むことを大切にしながら、次のような子どもを育てることを目標に保育を進めている。

1. 自分のことは自分でする子ども
2. いつもにこにこ明るい子ども
3. だれとでも仲良く遊ぶ子ども
4. わがままをいわずがまんする子ども
5. からだのじょうぶな子ども

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが第三者の立場で園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育要領教育課程、子どもの実態などを基に考えて作成している。	毎年度の指導計画を改正し、子どもの実情に即した教育内容にするように努めている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教師は日々の記録を参考にして、一人ひとりの子どもの実態を把握し、課題、問題を整理しつつ日案の作成に反映させるようにしている。
学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	各クラスで月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を評価する機会を作り、問題や課題をシェアし解決に向け協議するように努めている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人一人の子どもの良さとは何かを追及するとともに、教職員が子どもの成長を見る目を養うように努めている。
遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自分で工夫して遊び、それが発展して友達と協力して遊べる環境を準備するとともに教師が社会性の向上に向けて指導できるようにしていく。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	園生活の一日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。

各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会議等においてシェアし共有化を図るようにしている。
園便りや合同研修会を通して幼稚園の情報を発信していく。	園の教育方針や取り組みを情報発信するように父母説明会、園便りに記載し、積極的に取り組んでいる。
園の財務状況	年度収支は健全であり、学園監事監査、公認会計士監査により適正に運営されていると認められている。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 教師一人一人が学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己評価に取り組んでいる。今後も俯瞰的に自らの教育、保育を評価し、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねてほしい。</li> <li>◎ 施設面では環境整備に力を入れており、子ども達が安心、安全に保育を受けることが出来るように整備するように努めており、概ね目標を達成できた。</li> <li>◎ 保護者アンケートを実施し、幼稚園の教育・保育方針、に基づく計画の周知を行うと共に、教育に対するニーズの把握に努めた。</li> </ul>
---

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	現在、園便り、参観日、父母説明会などを通して保護者への周知徹底には取り組んでいるが、さらに進んだ情報公開としてホームページ等の活用も検討し実施していく。
自己点検、自己評価	基本の点検項目を課題としてあげ、各教職員においてはさらに新しい課題を設けることで自己成長に取り組んでいく。
指導計画の編成	新教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆を加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな要素を加味した指導計画の編成に取り組んでいく。
環境整備	補修、改修を積極的に行い施設の、安全を強化する。また様々な情報を速やかにメール配信し、状況を伝えていく。

#### 6. 学校関係者評価委員会の意見

<p>望まれていた園舎改築も行われ、新しい環境のもとに子どもたちも伸び伸びと生活しているという評価を得ているが、教育保育内容を刷新し古き良き伝統を残すと共に、新たな可能性に挑戦していく。</p>
---